



令和4年度

多北高 FRH 通信 第05号

令和4年8月9日(火)
多北高 FRH 推進委員会
探究推進部

乗鞍フィールドワーク（地形読図班）

地形読図班は豊平到着後すぐに、剣ヶ峰を目指して出発しました。コンパスや地図を手に、途中肩の小屋で休憩を取りながら、全員が剣ヶ峰登頂を果たしました。今回の通信では、地形読図班の活動の様子や、参加生徒の感想などを紹介します。

<参加生徒の感想>

- ★ 登山は思ったより過酷で道も険しかったけれど、山頂に登るまでの環境の変化や、みんなとの会話が楽しくて、とても短く感じた。天気の変動が激しく、急に変わることが意外とはっきりしていてびっくりした。ピークやコルが分かりやすく、また尾根と谷の違いについての知識が増えた。学習した内容をそのまま体験できたのは、とても貴重なことだと思う。
- ★ 実際に山を登ってみて、登山は自分が思っていたよりも大変で、難しいとわかりました。また高い場所だったので苦しさが凄かったです。地形図の尾根線谷線やハイマツなど、細かく理解できて良かったです。
- ★ 実際に乗鞍岳を登ってみて、その迫力と生えている植物のことや、登ることの大変さを実感しました。また特に尾根線谷線を間近で見ることができ、その様子を改めて詳しく知ることができました。
- ★ まだ地理を履修していなくて知識があまりなかったが、地形と現実をリンクさせて、ピークとコルのところ等、実感を持って理解できた。まただんだんと、地形図を頭の中で3Dにできたり、すぐくためになった。理系に行くのならば地理を選択しよう、という気持ちも強くなって、今回の研修で進路にもプラスになってよかった。

<活動の様子>



肩の小屋で昼食



2800mを越える



五里霧中の稜線(2950m)



ロープにつかまり頂上へ



山頂の三角点(3025.7m)



乗鞍本宮



霧にかすむ乗鞍山頂



肩の小屋にある東大宇宙線観測所(2779m)



富士見岳(2817m)



不消ヶ池(きえずがいけ)の万年雪